

セミナー申込方法

- ①「論語とそろばん」ウィークエンド・セミナーか②「論語とそろばん」セミナー2017のいずれかをお選びください。
渋沢栄一の思想と事績を知り、現代的意義を考えるという全体の流れは両セミナーとも共通です。講義時間、回数、講師等が異なります。
- 以下のいずれかの方法でお申込みください。
 - ファックス** : 下の申込書にご記入の上、ファックスでセミナー係までお送りください。ファックスにて1週間以内に参加証をお送りいたします。
 - ウェブサイト** : 当財団ウェブサイト (<http://www.shibusawa.or.jp>) の専用フォームからお申込みください。Eメールにて参加証をお送りいたします。
 - 郵便** : 下の申込書にご記入の上、82円切手を貼り住所・宛名を記入した返信用封筒と一緒にセミナー係までお送りください。郵送にて1週間以内に参加証をお送りいたします。

申込締切

定員に達し次第締切りとさせていただきます。

残念ながら定員に達してご参加いただけない場合には、その旨ご連絡いたします。いずれの方法でお申込みの場合も、お申込みから1週間たってもセミナー係から連絡がない場合は、お手数ですが下記セミナー係までご連絡ください。

参加費

「論語とそろばん」ウィークエンド・セミナー 当日会場にて現金でお支払いください。
「論語とそろばん」セミナー2017 見学会もしくはセミナーの初回に、会場にて現金でお支払いください。
ご欠席されることがあってもご返金はいたしませんので、ご了承ください。

お申込み・お問合せ

公益財団法人 渋沢栄一記念財団 「論語とそろばん」セミナー係

〒114-0024 東京都北区西ヶ原2-16-1

Tel 03-3910-2314 (火～土10:00～17:00)

Fax 03-3910-2849

<http://www.shibusawa.or.jp>

「論語とそろばん」セミナー 参加申込書 ファックス送付先 03-3910-2849

セミナーをお選びください。

- ☐①「論語とそろばん」ウィークエンド・セミナー (2016年12/17)
☐②「論語とそろばん」セミナー2017 (2017年1/21 (見学会)、1/25、2/1・16・28)

以下の中からお選びください。(会員は法人、個人会員様を含みます。該当するものすべてにチェックをお願いいたします。)

☐渋沢栄一記念財団会員 ☐東京商工会議所会員 ☐みずほ総研会員 ☐左記以外 (一般の方)
(会員のご登録状況について確認をいたします。)

法人会員様	御社名			申込代表者 電話	
				F A X	
	ご住所	〒			
	ご参加者 (申込代表者)	所属・役職	(フリガナ)	ご氏名	
	ご参加者	所属・役職	(フリガナ)	ご氏名	
	ご参加者	所属・役職	(フリガナ)	ご氏名	
個人会員様、一般の方	(フリガナ)			電 話	
	ご氏名			F A X	
	ご住所	〒			

②「論語とそろばん」セミナー2017に参加をお申込みの方で、過去の「論語とそろばん」セミナーの渋沢史料館見学会に参加されていない方は、1/21の見学会にご参加いただけます。ご希望の時間帯をお選びください。(先着順で受け付けますので、ご希望に添えない場合がありますことをご了承ください。)

☐午前部: 10:30～12:00 ☐午後部: 14:00～15:30 ☐どちらの時間帯でもよい ☐参加しない

1/25 (水) 第1回セミナーでの渋沢栄一に関するご質問があればお書きください。

申込書にご記入いただいた情報は受付、参加証の送付等、本セミナーに関するご連絡のために使用させていただくほか、今後のセミナー開催や当財団のサービス案内の配信のために使用させていただくことがあります。

論語とそろばん

ウィークエンド・セミナー

セミナー2017

渋沢栄一 (1840-1931) 渋沢史料館所蔵

青淵 2016 年 11 月号付録

主 催



公益財団法人 渋沢栄一記念財団

協 賛

MIZUHO

みずほ総合研究所

東京商工会議所

協 力

三省堂書店有楽町店、筑摩書房、日本経済新聞出版社、平凡社 (順不同)

西洋の経済・社会諸制度を日本へ導入し近代日本経済社会の基盤を築いた渋沢栄一 (1840-1931) は、論語を行動の指針としていました。「論語とそろばん」に象徴される渋沢栄一の思想と行動について理解を深めるとともに、21世紀の日本社会のあるべき姿と企業経営について、参加者の皆様と共に考える2つのセミナーを開催します。

1「論語とそろばん」ウィークエンド・セミナー

「論語とそろばん」セミナーのエッセンスを1日に凝縮した集中講座です。

2016年12月17日 (土) 10:00～17:00

会 場 見学会 渋沢史料館
セミナー 北区飛鳥山博物館講堂

参加費 5,000円
(渋沢栄一記念財団、東京商工会議所、みずほ総合研究所会員は3,000円)

定 員 80名

2「論語とそろばん」セミナー2017

約1か月にわたって全4回のセミナーを開催します。

渋沢史料館見学会 (初参加者対象) 2017年1月21日 (土)
セミナー全4回 1月25日 (水)・2月1日 (水)・
2月16日 (木)・2月28日 (火)

会 場 見学会 渋沢史料館 (初参加者対象)
セミナー ソラシティカンファレンスセンター

参加費 5,000円 (渋沢栄一記念財団、東京商工会議所、みずほ総合研究所会員は3,000円)
全4回と、初参加者対象の見学会を含む。

定 員 150名 (見学会は50名)

要事前申込、先着順 (詳しくは裏面をご覧ください)

企画監修・講師



守屋 淳 (もりや あつし 作家)

早稲田大学第一文学部卒業。大手書店勤務を経て、現在は中国古典、主に『孫子』『論語』『老子』『莊子』『韓非子』などの知恵を現代にどう活かすかをテーマとした、執筆や研修・講演を行う。著書に『現代語訳 渋沢栄一自伝』、『渋沢栄一の「論語講義」』(平凡社新書)、『現代語訳 論語と算盤』(ちくま新書)、『「論語と算盤」と現代の経営』、『最高の戦略教科書 孫子』(日本経済新聞出版社) など。ホームページ <http://chinese-classics.jp/>

セミナーのカリキュラム

日時	内容、出演者（敬称略）
2016年12月17日(土) 10:00~11:30	渋沢史料館見学会 常設展示と、旧渋沢庭園内の2棟の大正建築「晩香廬」 ^{ばんこうろ} 、「青淵文庫」 ^{せいえんぶんこ} をご案内します。 案内 渋沢史料館学芸員
11:30~12:40	各自昼食後、隣接の北区飛鳥山博物館講堂へ移動
12:40~13:40	セミナー1:「世界史の中の渋沢栄一」 講師 守屋 淳（作家）
13:40~14:40	セミナー2:「渋沢栄一から学ぶ ～21世紀の日本のグローバル・エンゲージメント」 講師 渋澤 健（コモンズ投信株式会社 会長）
10分間休憩	
14:50~17:00	セミナー3:経営者インタビュー「カフェの魅力、日本の魅力」 講師 楠本 修二郎（カフェ・カンパニー株式会社 代表取締役社長） 聞き手 守屋 淳、渋澤 健

*開始時刻30分前から会場にご入場いただけます。

講師



渋澤 健

(しぶさわ けん コモンズ投信株式会社 会長)

1983年テキサス大学BS Chemical Engineering卒業。1984年(財)日本国際交流センター入社。1987年UCLA大学MBA経営大学院卒業。ファースト・ボストン証券会社(NY)、JPモルガン銀行(東京)、JPモルガン証券会社(東京)、ムーア・キャピタル・マネジメント(NY、東京)を経て、2001年シブサワ・アンド・カンパニー株式会社を創業し、2007年コモンズ株式会社を設立(2008年コモンズ投信へ改名し、会長に就任)。経済同友会幹事、渋沢栄一記念財団執行理事。近著に『渋沢栄一 愛と勇気と資本主義』(日経ビジネス人文庫)。



楠本 修二郎

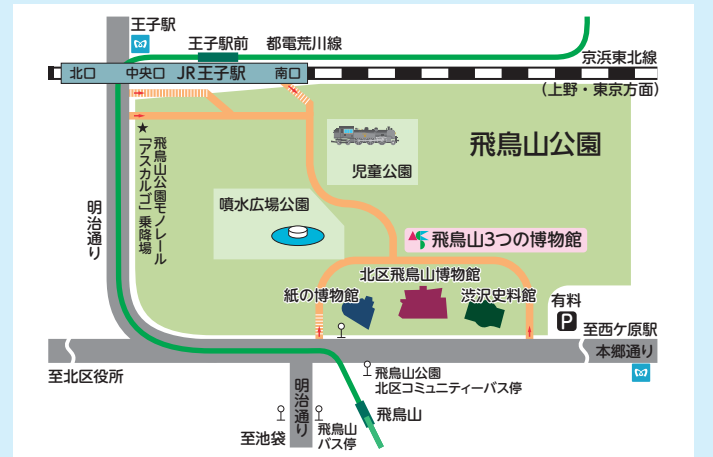
(くすもと しゅうじろう カフェ・カンパニー株式会社 代表取締役社長)

1988年早稲田大学政治経済学部卒業。2001年、カフェ・カンパニーを設立し、代表取締役社長に就任。“コミュニティの創造”を理念として現在、国内外で約100店を運営する他、地域活性化事業、商業施設のプロデュース等を手がける。2010年からはクールジャパン関係の政府委員を歴任。(一社)東の食の会代表理事、(一財)Next Wisdom Foundation代表理事、(一社)フード&エンターテインメント協会代表理事、東京発の収穫祭「東京ハーヴェスト」代表理事を務める。著書に『ラブ、ピース&カンパニー これからの仕事50の視点』(日経 BP 社)など。

ウィークエンド・セミナー会場のご案内

見学会…**渋沢史料館**(東京都北区西ヶ原2-16-1)および
セミナー…**北区飛鳥山博物館講堂**(東京都北区王子1-1-3)

- JR 京浜東北線 ……「王子」駅南口より徒歩5分
- 東京メトロ南北線 ……「西ヶ原」駅より徒歩7分
- 都電荒川線 ……「飛鳥山停留場」より徒歩4分
- 都バス「王40」「草64」系統 ……「飛鳥山停留所」より徒歩5分



セミナーのカリキュラム

	日時	内容、出演者（敬称略）
渋沢史料館 見学会	2017年1月21日(土) 午前の回:10:30~12:00 午後の回:14:00~15:30 (各回定員25名)	常設展示と、旧渋沢庭園内の2棟の大正建築「晩香廬」 ^{ばんこうろ} 、「青淵文庫」 ^{せいえんぶんこ} をご案内します。 案内 渋沢史料館学芸員 *会場規模の関係上、昨年度までの本セミナーで見学会に参加されていない方を対象とさせていただきます。ご了承ください。
第1回	1月25日(水) 19:00~21:00	渋沢栄一の素顔とところざし 渋沢栄一はどのような人物だったのでしょうか…栄一の事績や思想に焦点をあてながら、「ここが知りたい!」という参加者の皆さまからの率直な質問に、渋沢史料館館長がお答えします。 *渋沢栄一に関するご質問を募集します。詳しくは裏面の参加申込書をご覧ください。 講師 井上 潤（渋沢史料館 館長）
第2回	2月1日(水) 19:00~21:00	近世近代の儒学史からみた 三島中洲の「義利合一論」と渋沢栄一の『論語と算盤』 渋沢栄一が「道德経済合一説」(論語と算盤)の考えに確信をもったのは、漢学者三島中洲の「義利合一論」との出会いに拠るとされています。両者の交流や「義利合一」が唱道されるにいたった時代の思想的背景について俯瞰します。 講師 町 泉寿郎（二松学舎大学 教授）
第3回	2月16日(木) 19:00~21:00	経営者インタビュー（1）渋沢栄一と次代を担う社会起業家の潮流 若者の起業支援や企業インターンシップといった人材育成に取り組み、これまで多数の社会起業家を支援してきたNPO法人ETIC.代表理事の宮城治男さんに渋沢栄一の姿を重ね合わせ、ご自身の経験や起業家を取り巻く環境についてお話をうかがいます。 講師 宮城 治男（NPO 法人 ETIC. 代表理事） 聞き手 守屋 淳
第4回	2月28日(火) 19:00~21:00	経営者インタビュー（2）『『論語』と企業経営』 『ザ・ラストマン』の著書で知られる株式会社日立製作所元社長の川村隆さんに、同社を経営危機から一転V字回復に導いた際の、特にご自身の中国古典への深い造詣に基づく経営思想についてお話をうかがいます。 講師 川村 隆（株式会社日立製作所 名誉会長） 聞き手 守屋 淳

*各回の開始時刻30分前から会場にご入場いただけます。

講師



井上 潤

(いのうえ じゅん (公財) 渋沢栄一記念財団 事業部長・渋沢史料館 館長)

明治大学文学部史学地理学科日本史学専攻卒業。1982年の渋沢史料館開館当初から学芸員として勤め、館長に就任以降、現在も地元とのつながりを大切にしつつ世界にも目を向けて同史料館の情報発信力、関係諸機関とのネットワーク強化に努めている。主な著書に『渋沢栄一—近代日本社会の創造者』(山川出版社)、『渋沢栄一に学ぶ「論語と算盤」の経営』(共著、同友館)ほか。



町 泉寿郎

(まち せんじゅろう 二松学舎大学 教授)

1999年二松学舎大学大学院文学研究科博士後期課程単位取得退学、博士(文学)。1997年北里研究所東洋医学総合研究所研究員(〜03年9月)。2003年二松学舎大学教員(〜現在)。専攻は日本漢学・日本医学史。第6回日本医学史学会学術奨励賞、日本東洋医学会奨励賞受賞。共編著に『三島中洲の学芸とその生涯』(雄山閣出版)、『近代日中関係史人名辞典』(東京堂書店)、『近代日本の仏教者』(慶應義塾大学出版)ほか。



宮城 治男

(みやぎ はるお NPO 法人 ETIC. 代表理事)

早稲田大学在学中の1993年より若い世代が自ら社会に働きかけ、仕事を生み出していく起業家型リーダーの育成に取り組み、700名以上の起業家を支援。1996年より長期実践型インターンシッププログラムを事業化。2001年にはETIC.ソーシャルベンチャーセンターを設立、社会起業家育成のための支援を開始する。2004年からは地域における人材育成支援を開始。2011年から震災復興支援にも注力。



川村 隆

(かわむら たかし 株式会社日立製作所 名誉会長)

1962年東京大学工学部を卒業後、日立製作所入社。日立事業所長等を経て、1999年副社長。その後、グループ会社会長に転じるが、日立製作所が7,873億円の最終赤字を出した直後の2009年、執行役会長兼社長に就任、同社再生を陣頭指揮。黒字化の目処を立てた2010年に社長退任。2014年取締役会長退任。

セミナー2017会場のご案内

渋沢史料館

(史料館見学会 1/21) …ウィークエンド・セミナーご参照

ソラシティカンファレンスセンター
sola city HALL [EAST]

(セミナー2017 1/25、2/1、16、28)

東京都千代田区神田駿河台4-6 御茶ノ水ソラシティ2階

- JR 中央線・総武線 ……「御茶ノ水」駅 **聖橋口**から 徒歩1分
- 東京メトロ千代田線 ……「新御茶ノ水」駅 B2出口【直結】
- 東京メトロ丸ノ内線 ……「御茶ノ水」駅 出口1から 徒歩4分

